



■「炭タイム」Vol.18発刊のご挨拶■

この度の東日本大地震で被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

地震大国といわれる日本に住みながらこれほどの大きい被害を伴う震災に見舞われるとは皆さん想像していなかったのではないのでしょうか？

当社があります北海道札幌市は地震自体が多い地域ではなく、震度3を超えるような地震は滅多にない土地柄です。それでも今回の地震では今までに体験したことのない横揺れが長い時間続き、とても不安を掻き立てられたと聞いています（私は東京に向かう飛行機の中におり、直接の揺れを体験していません。飛行機は千歳に戻ってきましたが・・・）

日に日に明らかになる被害、テレビのニュースにくぎ付けになり、これからどうなっていくのだろうと何とも言えない感情にとらわれました。追い打ちをかけるように福島第一原発での事故が報道され、過去に体験したことのないレベルの危機なのではないかと考えるようになっていきました。

しかし、被災されながら前を向いて復興を目指す方々を目の当たりにし、世界中の人たちが「日本人ってなんてすばらしいんだ」という賛辞とともに、「君は一人じゃない」「僕たちがついてるよ」というメッセージがどんどん寄せられ、私自身も「今、自分にできることはなんだろう」「できることから始めよう」と前向きな気持ちが芽生え、私たちの仕事を通じて何かしらの力になれることがあると思うようになりました。

今、営業的な言葉は不適切なのかもしれません、それが被災者や被災地域、日本経済の為になるのであれば前を向いて取り組んでいこうと強く感じています。

株式会社 ホーム企画センター  
フロンティア事業部 古川 秀彦



緊急レポート

時代の新潮流を掴め！

～後篇～

《全号からの続き》

『エコ』から『エシカル』へ

21世紀は「良心の世紀」欲望から良心へ、人間目線のエコを戒め、もう一歩深く、いのちの支え合いを優先に自然との融合を大切にエシカルとは？

エシカルは新しい概念

さて、皆様はエシカルという言葉をご存じでしょうか？「エシカルライフのすすめ」を提唱している地球環境財団の理事長でジャーナリスト、学者でもある嶋矢志郎氏によると、直訳すれば英語のEthic（倫理、道徳）の形容詞でEthicalは「倫理的な、道徳上の」という意味だが、いかにも堅苦しい言葉、こなれない意味なので、私はより幅広い「良心」と言い換えて、エシカルを「良心的な」「良心に叶う」「良心に恥じない」と解釈している。私達は今、モノやサービスを選ぶときに、それがどのようにつくられ、どのような方法で私達のところに運ばれてきたかなど環境を配慮する。でも、それだけでは不十分ではないか、世間一般の社会規範、つまり人の道に照らしてより正しく、善であり、より美しいこと、つまり真善美にも配慮した購買・消費行動かどうか、と考えることから使われ始めた言葉。そしてエシカルは決して脱エコではなく、エコに対する認識や考え方を抜本的に改めながら、エシカル指向の購買・消費行動を優先していくという点で、**エコの次にくるキーワード、21世紀の新しい潮流を示唆する概念**だと言います。



良心は第3の行動規範

でも、なぜ「良心」なのか？ この問いに嶋矢氏は歴史を振り返ったうえで、人を動かす動機、起動要因は2つ。1つは自らの「欲望」もう1つは他者からの「命令」だと。資本主義はこうなりたいという自らの「欲望」により、社会主義はこうあるべきだという「命令」によって成り立っていた。しかし、ベルリンの壁が崩壊してこの2つの冷戦構造は終わりを告げた。「命令」よりも「欲望」のほう、つまり社会主義よりも資本主義のほう（社会規範に照らして）「より正しい」との判定が下った。ところが、勝ち残ったはずの資本主義は、その後、欲望の肥大化に押されて、人間の営みに伴う需要が膨張して、地球の扶養力、供給を上回り、その限界をはるかに超えるようになり、地球環境問題を深刻化させ、その課題解決を迫られるようになった。しかし、解決しようにも先進国と新興国・途上国の利害対立は深まるばかりで、その糸口はなかなか見つからない。もはや自らの「欲望」でもなければ、もとより他者からの「命令」でもない、いわば**第3の拠るべき行動規範が求められるようになってきた。それがエシカルであり「良心」なのだ**という。

善意・良心に誘導された社会活動

欲望から良心へ、人間目線のエコ（エコノミー・エコロジー）を戒め、もう一歩深く、命の支え合いを優先に自然との融合を大切にエシカルな行動は企業を始め消費者の間でも広がりを見せているようです。

例えば、売り上げの一部が寄付に回る商品などを提供する企業が増えていて、呼応するようにそのような商品を好んで購入する消費者が増えているなど、無視できないキーワードであることは間違いないさそうです。

このレポートを作成しているなか、東日本大震災が日本を襲った。日本中が助け合い、支え合う気持ちを持って行動を起こしている。前号で触れた「もしドラ」や「サンデル教授」や「タイガーマスク運動」そして「エシカル」・・・奇しくもこの危機的な状況のなかでこれらのキーワードがひとつになって、失われた20年の間で忘れられたと思われた日本人の特質、利他の精神、忍耐と礼節、つながり・コミュニティの重視、勇気と調和などが、きちんと残っていたことを目の当たりにすることになりました。

今こそエシカル！ 私たちも「炭の家」を通じて出来る「エシカル」を模索し実践していきます。

【終り】

お知らせ

TV番組が放映されます！



《番組名》

開拓者たち



《タイトル》

炭の家で急成長！～これまでにない健康な

家づくりを実現させた開拓者「青木雅典」～

《放送局》BS12

《放映日》4月23日（土）17:30～18:00

<メインキャスター>



松本 真由美

<ナビゲーター>



赤池 学

<ゲスト出演>



（株）ホーム企画センター  
代表取締役 青木 雅典

番組では「炭の家」お住まいのお客様、研究開発に携わっている先生方、炭の家の仕組みや当社の様子など取材して頂きました。また、当社代表青木が語る「炭の家」にかける熱い思いをぜひ番組でご覧ください！！